



会員の皆様からお寄せいただいた、各団体の活動の様子をご報告させていただきます。

いしかわ自然学校インストラクター チーム「たんぽぽ」の活動に参加して

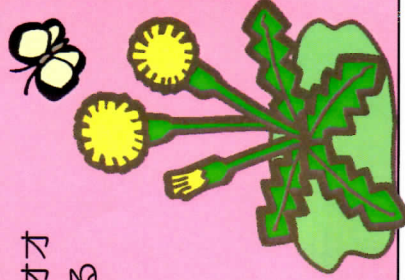
環白山保護利用管理協会・外来植物対策事業担当：稲葉 弘之

いしかわ自然学校インストラクター チーム「たんぽぽ」(代表 中西利枝さん)では自然体験を通して、人と人、人と自然のつながりを学ぶとともに独身者に出会いの場を提供することを目的に活動しています。石川県内の里山をフィールドにタッチオアープン料理や流しそうめんなどを企画しています。同会では今年初めて、7月23～24日の日程で、白山登山と南竜ヶ馬場ヶピン周辺のオオバコ除去作業を企画し、実施しました。当協会として外来植物除去の道具を貸し出すと共に外来植物対策の説明をするために講師として参加してきました。当日は20代から40代の男女13名が参加しました。

1日目は可憐に咲き誇る高山植物を楽しみながらの登山の後、南竜ヶ馬場周辺の散策をしました。参加者自らが力を合わせてカシャーを作り、わいわいと楽しい夕食を囲みました。その後は雲海に沈む夕日や満天の星たち、翌朝の神々しく顔を出したご来光など白山の大自然を満喫しました。

2日目はいよいよ、外来植物の除去の開始です。自分たちが宿泊したケビン周辺のオオバコの除去を行いました。外来植物の問題を理解し、生態系を守るために除去活動すると共に、活動を通じて、参加者の会話にも花が咲いたようです。約2時間の除去作業で参加者スタッフ合わせて、6.2kgのオオバコが除去できました。

独身男女の交流のきっかけとして外来植物除去の活動を実施したのは初めての試みでありました。このように、様々な形で協会が行う外来植物除去活動に参加してもらい、さらなる活動の輪が広がっていくことに期待したいと思います。



石川県韓国観光プロモーションに参加して

財団法人 白山観光協会：池内 裕

平成23年7月27日(水)～29日(金)

山岸 石川県副知事の石川県韓国観光プロモーションに参加してきました。戻った全ての訪問先で白山をPRしてきました。

(白山市地域振興公社からは永井理事長が参加)

7月27日(水)：小松空港にて結団式を行った後、空路にてソウルへ。大韓航空本社を訪問、石川県観光親善大使委嘱状交付式・交流会に参加しました。

7月28日(木)：大韓航空ソウル旅客支店、旅行会社「旅行博士」、旅行新聞社を訪問。登山協会関係者との風食懇談会に参加。

参加者の中に、10日前白山登山した方がおられました。白山山ツア-の日程は3泊4日(前泊：麓の温泉、室堂泊、後泊：麓の温泉)が一般的で、麓の宿は登山口(別当出合)まで送迎できる宿が良いとの要望を伺いました。午後、旅行会社「ハナツア-」を訪問。

石川県観光交流セミナーで白山(白山一般・室堂・南竜山荘)のプレゼンテーション(韓国語による通訳有り)を行い、交流会に参加しました。

7月29日(金)：帰国。



白山を紹介してきました!



今年5月、「白山二県(石川県・岐阜県) 合同山岳遭難防止対策連絡協議会」が設置され、当協会にも広域の民間団体として、協力依頼がありました。

7月～8月の2ヶ月間を「山岳遭難防止対策強化期間」と位置づけ、石川県・岐阜県の主要な登山口の別当出合(石川)、大白川(岐阜)にて二県一斉啓発活動が行われました。両県統一のリーフレットを登山客に配布し、安全登山と登山届提出を呼びかけました。

このPR活動は両県で3回ずつ実施され、当協会としても、石川県側登山口の別当出合にて、6月30日の夏山開山直前と7月30日の登山シーズンのピークを迎えた頃の2度、PR活動に参加することができました。

別当出合でバスを降りてきた方、いよいよ登山を始めようという方々一人一人にリーフレットを手渡し、安全な登山を心がけていただくよう、声を掛けました。また、登山届を知らない人も多く、登山届の記入場所をお知らせし、提出を呼びかけました。



別当出合、登山届記入の様子



特に7月30日は悪天候の中での活動でしたが、ご参加いただいた方々、大変お疲れさまでした!

～白山二県合同スローガン～

『知って 備えて 安全登山』

～白山人のつぶやき～

環白山協会にかかわることができたおかげで各地の「白山人」にお会いすることができ、情報交換をすることができ、白山の魅力をさらに教えていただきました。ありがとうございます! これからも、もっともっと仲間を増やし、環白山協会の活性化に貢献したいです!

名前・所属団体

山田 俊行・トヨタ白川郷自然学校(岐阜県・白川村)

(現在:安藤百福記念自然体験活動指導者養成センターに出向中)

活動内容・白山との関係

白山の北部山麓に位置するトヨタ白川郷自然学校を拠点に環境教育及びエコツアーの推進に取り組んでいます。また、現在の出向先では、自然体験活動やアウトドアの指導者の全国規模の育成制度を整備する仕事に取り組んでいます。

今後の抱負

環白山でのエコツアーを活性化する方法の一つとして「ロングトレイル」の整備ができないかと思っています。既存の道を活用するこの運動は、今後かなりの需要が出てくると思います。

白山をぐるぐる回るトレイルならば一周200kmも夢ではありません。やってみませんか?

次回、紹介する白山人は...

富山県で活躍しておられる、五箇山自然文化研究会の 荒井 崇浩 さんをご紹介します。

